

長野工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	倫理学特論
科目基礎情報					
科目番号	0012		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産環境システム専攻		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	指定しない。授業においてプリントを配布する。				
担当教員	嶋崎 太一				
到達目標					
科学技術およびそれに携わる技術者の社会的責任や役割をグローバル規模で理解し、科学技術の直面する倫理的課題について自ら考え、論理的にそれを説明、表現することができる。これをもって学習・教育目標 (B-1) および (B-2) の達成とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
倫理学理論の基礎を理解できる。	倫理学理論の基礎を十分に理解している。	倫理学理論の基礎を、おおむね理解している。	倫理学理論の基礎を理解していない。		
科学技術のもつ倫理的課題について広い視野から考察できる。	科学技術のもつ倫理的課題について、グローバル規模で十分に考察できる。	科学技術のもつ倫理的課題について、おおむね考察できている。	科学技術のもつ倫理的課題について考察できていない。		
技術者の倫理について主体的に探究し、それを表現できる。	技術者の倫理について主体的に探究し、論理的かつ明晰にそれを表現できる。	技術者の倫理について考え、それをおおむね表現できている。	技術者の倫理について考え、表現することができていない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	倫理学の基礎的な理論について講義した上で、それを踏まえて技術者の倫理について学生自身がプレゼンテーションし、相互に検討する。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法は講義およびプレゼンテーション、ディスカッションとする。対話によってより高次の答えを見出すプロセスを重視するため、積極的にディスカッションに参加してもらいたい。</li> <li>・科学技術の倫理について、ケース・スタディを活用し、相互に検討する。</li> </ul> <p>なお、この科目は、学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。事前・事後学習として課題等を与える。</p>				
注意点	<p>&lt;成績評価&gt; ケース・スタディに関するプレゼンテーション (30%)、プレゼンテーションに対するコメント (30%)、および学期末レポート (40%) の合計100点満点で (B-1) (B-2) を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。</p> <p>&lt;オフィスアワー&gt; 木曜日 16:00 ~ 17:00</p> <p>&lt;先修科目・後修科目&gt; 先修科目は倫理学</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	技術者倫理の意義	技術者倫理の意義について理解する。	
		2週	ケース・スタディのテーマ設定、プレゼンテーションの基本	ケース・スタディに関するプレゼンテーションの方法を理解する。	
		3週	倫理学基礎論①義務論 (正義論を含む)	カントの義務論やロールズの正義論について理解する。	
		4週	倫理学基礎論②功利主義	ベンサム、ミルの古典的功利主義とその発展について理解する。	
		5週	倫理学基礎論③徳倫理	徳倫理について理解する。	
		6週	ケース・スタディ①	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		7週	ケース・スタディ②	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		8週	ケース・スタディ③	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
	2ndQ	9週	ケース・スタディ④	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		10週	ケース・スタディ⑤	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		11週	ケース・スタディ⑥	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		12週	ケース・スタディ⑦	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		13週	ケース・スタディ⑧	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		14週	ケース・スタディ⑨	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。	
		15週	総合討論、まとめ	授業で扱ったケース・スタディを振り返り、全体を通して議論を深められる。	
		16週			
評価割合					

	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	0	60	40	0	100
配点	0	0	60	40	0	100